



### Ⅲ 研究活動

#### 1 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

教員名	研究課題
蓮見 孝	ウェルネスに着目した療養環境改善と地域創成に関する研究
酒井 正幸	ユニバーサルデザイン研究 生態展示施設のグランドデザイン
城間 祥之	デザインの価値の測定・評価方法に関する研究 ー中国由来加工食品のパッケージデザインの印象評価ー
上遠野 敏	現代美術創作研究 同時代の美術研究 日本の美意識研究
原田 昭	感性による文化創発の方法論に関する研究
石井 雅博	視覚の認知および感性に関する研究
石崎 友紀	地域様式デザイン研究 道具学的な技術文化の探求 工学的性能と審美的性能・情緒的性能の相対的な考察 造形教育
齋藤 利明	オールビスクによる創作人形制作研究と人形を主体とした空間演出
杉 哲夫	看護とデザイン連携のプロダクトデザイン事例研究およびデザイン開発
武邑 光裕	文化多様性とソーシャルメディア環境
中原 宏	地域の多様性とコミュニティデザインに関する研究
羽深 久夫	北海道における歴史的建造物の保存・再生・活用 米国・東欧・北欧及び東アジア（韓国・台湾）における木造建築の保存・再生・活用 日本および世界における医療施設・福祉施設の調査 世界の高等教育機関における建築教育調査と相互交流
原 俊彦	ドイツと日本における無子の増加に関する研究（継続） 超少子高齢化・人口減少社会に対応した社会保障システムのデザイン（継続） 地域社会の人口減少・少子高齢化に対する施策の研究
細谷 多聞	視覚的環境情報の電子化とその活用に関する研究
町田 佳世子	現代の若者のコミュニケーション能力の構造に関する研究 語用論を切り口とした英語文法編成の試み
矢部 和夫	地域の湿原やその他の生態系における生物多様性の保全・再生と創出に関する研究
吉田 和夫	組織活性化におけるVI（ビジュアル・アイデンティティ）の役割とその生成について
吉田 恵介	コミュニティデザイン手法によるエリアマネージメントの可能性に関する研究
柿山 浩一郎	講義内容改善を目的とした、学生からの講義に対する意見収集システムの開発
斉藤 雅也	異分野連携による建築環境デザインの展開手法に関する研究
武田 亘明	クリエイティブ人材育成のための実践的学びの場のデザイン
張 浦華	形態の感性評価の相関要因に関する研究
山田 良	環境芸術の地域に果たす役割
石田 勝也	サウンドアンドビジュアルを使用した空間的創造性の構築



教員名	研究課題
上田 裕文	風景イメージスケッチ手法を用いた風景計画に関する研究
大淵 一博	デザイン学習者向け教材の開発と教育効果測定に関する研究
片山 めぐみ	スマートフォンアプリケーションによるシークエンスデザイン教育支援ツールの効果検証
小宮 加容子	子どもを対象にした安全かつ使いやすい形状およびサインのデザインに関する研究
杉本 達應	情報の視覚化に関する技術調査と教材開発
福田 大年	デザイン学部生のプロジェクト活動におけるスケッチ作業を活かしたアイデア発想 ディスカッションの可能性に関する研究
松井 美穂	アメリカ南部文学研究
松永 康佑	セルオートマトン法による実時間粒子表現の研究
三谷 篤史	小児を対象とした被験者実験によるメカトロ積木の評価
金子 晋也	北海道における建築構法とその意匠性に関する研究
須之内 元洋	地域文化資産のデジタルアーカイブデザイン手法の開発 オンライン音響編集プラットフォームを活用したサウンドスケープ活動の展開 音響パターン認識技術の研究
長谷川 聡	人の行為を誘因する製品・空間に関する研究
小西 敏正	北海道における石造建築構法の地域特性

## 看護学部

教員名	研究課題
中村 恵子	大学院教育における高度実践看護に関する研究（継続）
樋之津 淳子	看護基礎教育と臨床教育をつなぐ卒後研修プログラムの開発と評価
山本 勝則	精神看護学におけるシミュレーション教育
宮崎 みち子	胎児の生きる権利に関する研究 助産学専攻科における客観的臨床能力試験（OSCE）を用いた教育プログラムの評価
小田 和美	慢性期看護に携わる熟練看護師の療養支援の実践知の可視化に関する研究 一般病棟において糖尿病患者を支援する看護師の学習ニーズに関する研究
猪股 千代子	地域で暮らす高齢者・難病患者の生を支える全人的統合医療ケアリング・ヒーリングプログラムの研究
河原田 まり子	ソーシャルキャピタルを活用した公衆衛生看護活動の推進
川村 三希子	認知症を伴うがん患者の質の高いエンド・オブ・ライフケアの検討
坂倉 恵美子	積雪寒冷地の地域在住高齢者の生活と主観的幸福感の関連
定廣 和香子	実習安全に向けた教授活動自己評価尺度の開発
スーディ神崎 和代	認知症と環境に関する研究：ICTを用いた自主健康管理システム構築研究（E-KURASHI）と遠隔看護（E-KANGO）運用インターフェイス構築 認知症と環境に関する研究：五感覚への刺激と症状緩和
松浦 和代	低学年児童の基礎活動力を高める転倒予防マットレスの開発と運動プログラムへの適用
上村 浩太	看護師への継続学習支援「リレー方式学習」の展開・評価
大野 夏代	マッサージなど看護技術や統合医療に関する研究 国際的活動の計画や評価に関する研究
貝谷 敏子	リソースナースの地域活用によるシームレスな連携体制の構築と効果の検証



教員名	研究課題
菊地 ひろみ	訪問看護ステーションの看護師教育プログラムの開発に係る基礎研究
清水 光子	都市に暮らす高齢者のソーシャル・キャピタルの実態と今後の地域保健福祉活動
菅原 美樹	高度実践看護師のシミュレーション教育と評価に関する文献検討と視察による調査
古都 昌子	看護学を学ぶ学生の学習遂行上の困難に着眼した支援プログラムの作成 看護学生の臨地実習における環境の事態と改善策の検討
村松 真澄	介護保険施設における口腔ケアに関する看護管理的取り組みの介入が対象者（入院、入所者）の心身に及ぼす影響に関する調査
守村 洋	メンタルヘルスに関する研究（主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究）
山田 典子	フォレンジック看護とセーフティプロモーション
太田 晴美	看看連携アクションリサーチー災害への備えー
神島 滋子	高次脳機能障害患者・家族の生活の実態と生活上の工夫について 看護大学教員の一般病院への看護記録指導による効果
櫻井 繭子	産業保健に関わるシステムに関する研究
田中 広美	看護基礎教育における看護実践能力に関する研究
原井 美佳	中年期女性の尿失禁リスク要因解明と尿失禁への対処行動促進に関する研究
藤井 瑞恵	壮年期の透析者における生活と関連要因の関係 ー寒冷地の影響に焦点をあててー
三上 智子	小児看護学OSCE課題の検討と評価 ～看護技術獲得に向けて～
山内 まゆみ	「私はこんな助産師になるぞプロジェクト2014」の運営と評価 「看護系大学が行える卒後助産師を対象とした卒後教育プランの開発」
山本 真由美	母性看護学における実践能力を強化するための教材の開発 助産師に求められる実践能力の強化ー助産師外来との関連ー
渡邊 由加利	妊娠期にある夫婦の夫婦間の情緒的関係を維持・促進するためのコミュニケーション支援プログラムを開発 助産技術の実践力を高めるための教育内容の検討
工藤 京子	HOT患者の災害に関する認識と酸素業者の認識の共通点と違い
多賀 昌江	死産児出産の悲しみを癒す棺の感性デザインに関する研究
田仲 里江	ソーシャルキャピタル(SC) について
坂東 奈穂美	看護師と看護補助者の協働の現状と抱えている課題 看護学生の経年的コミュニケーションスキルの構造化
檜山 明子	入院患者に対する転倒予防対策に関する研究
石引 かずみ	助産師の専門職的自律性と参加医師との協働に関する研究
小田嶋 裕輝	2型糖尿病患者の首尾一貫感を高める患者教育プログラムの開発
柏倉 大作	周手術期における患者の栄養状態と術後合併症の関連および看護ケアプログラムの構築 注射技術取得のための動画によるシミュレーション教育
星 幸江	長期入院統合失調症患者の退院好機を見定める臨床判断要素 ～熟練看護師の関わりに焦点を当てて～
御厩 美登里	在宅死を促進する要因に関する研究 訪問看護師の職務継続意向に関連する要因



教員名	研究課題
横川 亜希子	医療事故を克服した看護師の経験に関する研究 －就職後1年以内に医療事故の当事者となった看護師に焦点を当てて－
松永 直子	一般病棟で終末期がん看護を行う看護師の困難感と対処方法 ～がん看護の経験を重ねた看護師に焦点を当てて～



## 2 学内公募研究課題一覧

### 学術奨励研究

教員名	研究課題
杉本 達應	データ視覚化のためのモバイルアプリ開発研究
松永 康佑	身体計測システムを用いたダンス教育用コンテンツに関する研究
金子 晋也	デザインサーバイを通じた北海道沿岸部の空間特性に関する研究
古都 昌子	コミュニケーションに苦手意識を持つ看護学生の「会話コミュニティ（ナーシングしゃべり場）」への参加による効果と課題
守村 洋	統合失調症者の親が感じる困難と求める支援
渡邊 由加利	妊娠期にある夫婦の夫婦間の情緒的関係を維持・促進するためのコミュニケーション支援プログラムを開発
柏倉 大作	動画を活用した自己学習型の注射のシュミレーション教育に関する研究

### 共同研究

教員名	研究課題
◎田中 広美 杉 哲夫 樋之津 淳子 檜山 明子	からだにやさしい移動・移乗支援補助用具の試作と実用性の検証
◎石田 勝也 杉本 達應 須之内 元洋	札幌国際芸術祭を通じた大学の地域貢献への実証研究
◎小宮 加容子 杉本 達應 福田 大年	世代間交流と地域づくりに活用できる協同遊びをデザインするための基礎研究
◎上田 裕文	積雪寒冷地の冬季都市景観イメージに関する北海道とラップランドの比較研究
◎大淵 一博 清水 光子 守村 洋 柏倉 大作 檜山 明子	タブレット型端末を活用した看護OSCE運営・評価支援システムの開発と検証
◎三谷 篤史 村松 真澄	口腔ケアシミュレーションモデルの開発
◎村松 真澄 大淵 一博	口腔ケアのEBMを作るためのデータベースの開発の基礎的研究
◎山本 真由美 羽深 久夫 宮崎 みち子 多賀 昌江 渡邊 由加利 石引 かずみ	看護実践能力を向上させるための教材の開発ー装着型産褥子宮モデルー
◎坂東 奈穂美 町田 佳世子 田中 広美 山本 真由美 柏倉 大作	看護学生の経年的コミュニケーションスキルの構造化

◎印：代表者

### 田村ICT基金

教員名	研究課題
松永 康佑	数理モデルに基づく雪の結晶の生成シミュレーション研究

### 採択状況

学術奨励研究		共同研究		田村ICT基金		合計	
応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数
8	7	10	9	2	1	20	17



### 3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況

#### 科学研究費助成事業（科研費）

研究代表者	研究課題	研究種目	金額（円）
町田 佳世子	動物園を舞台とした教育・啓蒙活動における専門的実践家の役割とその効果の解明	基盤研究(C)	1,170,000
松浦 和代	低学年児童の基礎活動力を高める転倒予防マットレスの開発と運動プログラムへの適用	基盤研究(C)	1,300,000
矢部 和夫	低地泥炭湿原の群落の景観と種組成における地理的変異の把握とその生成機構の解明	基盤研究(C)	1,690,000
藤井 瑞恵	地域一般住民のアルコール摂取量とアディポカイトサイン、生活習慣病リスクとの関係	基盤研究(C)	390,000
村松 真澄	介護保険施設において実践されている口腔ケアに関する看護管理的取り組みの実態調査	基盤研究(C)	910,000
山田 典子	外傷サーベイランスが現場にもたらす課題とシミュレータを用いたスタッフ育成	挑戦的萌芽	1,040,000
檜山 明子	「疼痛アセスメント能力自己評価尺度－精神科看護師用－」の開発	若手研究(B)	260,000
松永 康佑	仮想身体における筋肉の隆起と揺れ表現のための全身筋電計開発に関する研究	基盤研究(C)	1,820,000
小宮 加容子	散剤に適した子どもの服用動作分析および処方薬分包袋のデザイン提案	基盤研究(C)	650,000
羽深 久夫	明治期以降の北海道における枠内構法の民家の歴史的展開過程	基盤研究(C)	1,430,000
工藤 京子	北海道における患者を主体とした自助行動としてのHOT患者災害時避難システム	基盤研究(C)	910,000
菅原 美樹	高度実践看護師の臨床推論・判断能力を強化するシミュレーション教育プログラムの開発	基盤研究(C)	910,000
河原田 まり子	地域保健活動評価のためのソーシャル・キャピタル測定尺度の開発	基盤研究(C)	1,560,000
清水 光子	都市に暮らす高齢者のソーシャル・キャピタルの実態と今後の地域保健福祉活動	基盤研究(C)	2,210,000
貝谷 敏子	看護経済学の構築に向けた基盤研究－褥瘡患者立脚型QOL評価指標の開発－	基盤研究(C)	1,690,000
石井 雅博	視対象への能動的関与による視聴覚の変調	基盤研究(C)	1,560,000
湯川 崇	積雪寒冷地における住宅地の雪処理に配慮した住宅設計システムの開発	基盤研究(C)	2,990,000
原井 美佳	中年期女性の尿失禁リスク要因解明と尿失禁への対処行動促進に関する研究	基盤研究(C)	1,430,000
定廣 和香子	学生による医療事故防止に向けた実習安全FD展開モデルの開発	基盤研究(C)	1,300,000
菊地 ひろみ	多発性硬化症患者に対する認知行動療法の導入およびアウトカム評価	基盤研究(C)	520,000
川村 三希子	認知症高齢がん患者の疼痛マネジメントの質の向上を目指した疼痛アセスメント指標の開発	基盤研究(C)	1,430,000
スーディ神崎 和代	在宅死を可能にするための在宅ケア基盤づくりの方略－フィンランドと日本の比較	基盤研究(C)	2,080,000





研究代表者	研究課題	研究種目	金額 (円)
斉藤 雅也	小学児童の想像温度に基づく地域住育プログラムの開発研究	挑戦の萌芽	1,690,000
柿山 浩一郎	無意識動作で測るポジティブ感・ネガティブ感に関する研究	若手研究 (B)	3,640,000
片山 めぐみ	高揚感記録モバイルアプリ開発による新しい景観資源収集と観光客誘致の仕掛けづくり	若手研究 (A)	3,770,000
上田 裕文	森林利用型樹木葬墓地の導入可能性と課題に関する研究	若手研究 (B)	910,000
小田嶋 裕輝	2型糖尿病患者の首尾一貫感を高めるための患者教育プログラムの作成と検証	若手研究 (B)	650,000

※課題番号順

### 科学研究費助成事業基盤研究A (科研A)

研究代表者	研究課題	研究種目	金額 (円)
蓮見 孝	タイム・スペースシェアリング型地域連携による地域創成デザイン研究	基盤研究 (A)	18,460,000

#### ①概要

本研究は、地方市町村と大都市の双方における暮らしの質の維持、および魅力創出のための手法の構築を目的として、平成25年度からの3カ年の計画で、アート&デザインを核に地方市町村と大都市を相補・連携させる「タイム・スペースシェアリング (略称:TSS)」手法による地域創成活動の実証実験を行い、その効果を検証するものです。

平成25年度の複数のフィールドでの活動をもとに、「人」「事」「場」「物」が地域の魅力のキーになる4要素になるとの仮説を構築しました。これを受け平成26年度は、北海道札幌市南区、三笠市、夕張市、寿都郡寿都町、虻田郡喜茂別町、沙流郡平取町で継続活動を行いました。また、北海道有珠郡壮瞥町の全面的な協力を得て、夏期と冬期の札幌 - 壮瞥町間の5組7名のシェアリング「居住実験」を行うと共に、延べ60名の3回に亘る「井戸端寺子屋WS」を実施しました。

「居住実験」の実施により得られた知見としては、短期居住の生活は、周辺の観光施設の訪問が日常生活の中心となるため、観光施設の良否がワクワク感に直結すること、観光施設や食堂などのサービスは自分が生活している地域を基準に評価され、都会のサービスの充実度合いと地方サービスの充実度合いとのマッチングが課題であること、日常生活が基盤となる為、基本的な住宅設備の充実が、居住中のワクワク感に大きく影響すること、などが得られました。

また、「井戸端寺子屋WS」の実施により得られた知見としては、TSSを成功させるためには「人」「事」「場」「物」の魅力が、2地域それぞれに備わっている必要があるが、4要素のうちいくつか欠けている地域も存在し、存在しない魅力要素を短期間に作り出すことは難しいこと、また「短期居住」を地域創生を目的とした地域の活性化手法の一つと位置づけた場合、前述の4要素の魅力はその地域のポテンシャルそのものであり、この魅力を短期居住者に体感してもらうための短期居住の仕組みづくりが有効であること、実際に短期居住を試みる際の解決すべき課題(日常生活を中断し、他地域で生活する際の問題)が「金銭・仕事」「医療(介護)」「移動(交通)」「情報」「環境差」「気候」「目的」等の要素から構成されることなどが得られました。

平成27年度には居住実験で得られたデータをさらに補完するため、短期居住型ワークショップを開催し、研究期間全体の成果をまとめる予定です。

#### ②実施体制

研究代表者：蓮見 孝

研究分担者：酒井 正幸、城間 祥之、中原 宏、上遠野 敏、原 俊彦、石井 雅博、斉藤 雅也、山田 良、柿山 浩一郎、上田 裕文、片山 めぐみ

研究補助員：南部 麻子

#### ③研究組織

統括、大都市(札幌市)の魅力分析班、過疎市町村の魅力分析班、地域創成先行事例分析班、暮らし満足度定量化手法班、事務局



④主な事業実績	
年月日	事業実績
平成26年4月12日	「喜茂別だより・寿都だより弁当」ワークショップ（参加者：50名）
平成26年4月26日	シンポジウム「TSS井戸端寺子屋会議 in 札幌 ひと・こと・ば・ものでつなぐ3つの森の協演」（参加者：36名）
平成26年5月～7月	平取町：鹿革商品開発プロジェクト 大学ベンチャー起業セミナー（のべ参加者：約50名）
平成26年6月25日～7月1日	五感を通して地域に伝える仕掛けとしてのお弁当開発 実験販売（販売数：150食）
平成26年6月～10月	地域で取り組むグリーンカーテンの栽培と住民意識の調査研究（調査対象者：33世帯）
平成26年7月～11月	奥洞爺ロゴデザイン・観光促進グッズ提案における調査研究（調査対象者：40名）
平成26年7月14日・18日～20日	寿都町：風車アートプロジェクト 寿都小学校・潮路小学校子供教室（のべ参加者：約30名）
平成26年8月24日・9月13日	そらち炭坑の記憶アートプロジェクト2014 来場者への意識調査（調査対象者：70名）
平成26年9月～平成27年1月	居住体験実証実験（参加者：5組7名）
平成26年9月30日・10月12日・20日	井戸端寺子屋ワークショップ（のべ参加者：約60名）
平成26年10月11日	講演会「緑のカーテンから広がる豊かな暮らし」（参加者：28名）
平成26年10月12日	「奥洞爺だより弁当」お披露目会ワークショップ（参加者：27名）
平成26年10月14日	ミニセミナーと健康ウォーキング体験講座「ドイツをモデルとした健康保養地づくり」（参加者：12名）
平成27年3月15日	シンポジウム「TSS井戸端寺子屋会議 高知&北海道 二地域居住で見えてくる『地域創生』」（参加者：40名）

## 受託研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額（円）
石井 雅博	共生社会に向けた人間調和型情報技術の構築 知覚中心ヒューマンインターフェースの開発 視覚特性の計測と評価	(独)科学技術振興機構	6,500,000
上田 裕文	地域力向上を支援するまちづくり研究事業	寿都町	1,500,000
吉田 恵介	都市緑化空間の可能性に関する研究	札幌市(環境局)	2,851,200
斉藤 雅也	温熱環境・エネルギーマネジメントに配慮した在宅医療拠点の デザイン研究	(医)オレンジ	1,000,000
武邑 光裕	芸術文化導入によるまちづくりに関する研究	美瑛町	3,000,000
斉藤 雅也	大規模複合商業施設を拠点とする地域住民・テナント事業者向け 省エネルギー行動の普及に関する研究	(株)札幌副都心開発 公社	960,000
福田 大年	北海道の風土と文化にちなんだ色の選定と言葉の生成に関する 研究ー北海道ココロカラープロジェクト	(株)マーケティング・コミュニケー ション・エルグ	1,000,000
福田 大年	子どもの能動的参加を促す遊びの屋内・屋外への展開方法を構築 するための基礎研究	札幌市(市長政策 室)	1,401,840





研究代表者	研究課題	委託者	金額 (円)
中原 宏	創成東地区が持つものづくりの歴史を活かしたまちづくりの手法開発	札幌市(市長政策室)	1,419,660
吉田 和夫	ユニバーサルデザイン視点からの動物園のサイン計画研究ー地下鉄円山公園駅からのアプローチ誘導サインー	札幌市(環境局)	500,000
斉藤 雅也	ホッキョクグマ・アザラシ館(仮称)のデザイン研究	札幌市(環境局)	500,000
福田 大年	アフリカゾーンの飼育展示・サイン計画のデザイン監修	札幌市(環境局)	500,000
矢部 和夫	円山動物園の森ビオトープの生物多様性向上のための研究	札幌市(環境局)	500,000
守村 洋	「平成26年度札幌市自殺未遂者実態調査」調査研究	札幌市(障がい保健福祉部)	574,560
武邑 光裕	オリジナルロゴマークのデザイン研究	美瑛町	162,000

#### 4 寄附金の受入状況

教員名	寄附目的	寄附元	金額 (円)
中村 恵子	看護研究の促進及び看護の質の向上のため	北海道勤労者医療協会	200,000
矢部 和夫	平成26年度美々川自然再生に関する調査研究「ウトナイ湖北岸における高茎湿生草原の再生手法検討ー現地での野外実験を想定した事前調査ー」に対する研究助成	(公財)リバーフロント研究所	800,000
中村 恵子	看護研究の促進及び看護の質の向上のため	JA北海道厚生連札幌厚生病院	210,000
中村 恵子	札幌市民のニーズに応じた教育支援のため	(医)鳩仁会札幌中央病院	80,000
中村 恵子	看護研究の促進及び看護の質の向上のため	(医)溪仁会手稲溪仁会病院	210,000
中村 恵子	教育を基にした人材育成のための支援 看護教育の促進強化	(医)徳州会札幌徳州会病院	240,000

#### 5 その他研究助成

教員名	研究課題	寄附元	金額 (円)
三谷 篤史	メカトロ積木を用いた視覚性トレーニングツールの開発	(公財)北海道科学技術総合振興センター	2,000,000
多賀 昌江	思春期前の男の子をもつ親を対象とした家庭向け性教育教材の開発に関する研究	(公財)日本教育公務員弘済会	888,000



## 6 海外出張記録

期間	教員名	目的国	目的
平成26年4月23日 ～30日	杉本 達應	ペルー	国際会議 (HASTAC2014) 発表
平成26年5月3日 ～7日	河原田 まり子	アメリカ	AAOHN 第2回グローバルサミット参加
平成26年5月3日 ～7日	坂倉 恵美子	アメリカ	米国産業看護学会総会出席
平成26年5月11日 ～15日	山田 典子	韓国	The 7th Asian Conference on Safe Communitiesへの参加、発表
平成26年5月15日 ～23日	石井 雅博	アメリカ	視覚科学学会年次大会参加、発表、情報収集
平成26年5月21日 ～25日	スーディ神崎 和代	アメリカ	Alzheimer's Disease and Related Dementias 学会参加
平成26年5月30日 ～6月7日	山内 まゆみ	チェコ	The 30th ICM Triennial Congress 出席 成果発表
平成26年5月30日 ～6月7日	渡邊 由加利	チェコ	The 30th ICM Triennial Congress 出席 成果発表
平成26年5月31日 ～6月7日	石引 かずみ	チェコ	The 30th ICM Triennial Congress 出席 成果発表
平成26年6月1日 ～7日	宮崎 みち子	チェコ	The 30th ICM Triennial Congress 出席 成果発表
平成26年6月3日 ～9日	川村 三希子	スペイン	ヨーロッパ緩和医療学会出席
平成26年6月5日 ～17日	須之内 元洋	イタリア、スイス、フランス、ドイツ	ヴェネツィア建築ビエンナーレ・アールブリュット美術館・ドイツ建築博物館の視察・調査、Centre Des Artsでの作品展示設営・メンテナンス・解説
平成26年6月13日 ～17日	多賀 昌江	イギリス	第14回世界乳幼児精神保健会議 (WAIMH) 参加、示説発表
平成26年6月14日 ～21日	定廣 和香子	スウェーデン	シグマセタウインターナショナル ヨーロピアンカンファレンス国際学会発表 (共同研究)、情報収集、病院視察
平成26年6月21日 ～29日	片山 めぐみ	ルーマニア	International Association People-Environment Studies 2014での研究発表
平成26年6月26日 ～7月2日	城間 祥之	中国	BIT主催3D Printingに関する第1回世界会議 (3D Printing 2014) での研究発表、清華大学美術学院との学術交流
平成26年7月12日 ～17日	スーディ神崎 和代	デンマーク	2014AAIC 学会参加および研究発表
平成26年7月23日 ～28日	定廣 和香子	中国 香港	STTI 国際学会学術集会発表
平成26年7月31日 ～8月9日	小西 敏正	オーストリア	ICGG (国際図学会) 出席・発表、近代建築の保存活用状態の調査
平成26年8月3日 ～14日	武邑 光裕	ドイツ、ベルギー	パブリックアート・ラボ滞在研究・調査、ニューメディアのための打ち合わせ、欧州議会事務局での研究調査
平成26年8月9日 ～16日	松永 康佑	カナダ	コンピュータグラフィックスにおける先端技術および資料収集のため



期間	教員名	目的国	目的
平成26年8月15日 ～31日	定廣 和香子	デンマーク、ノルウェー	実地調査（精神療養施設、大学病院、ナーシングホーム訪問）
平成26年8月21日 ～9月7日	山田 良	ノルウェー	空間デザイン・ワークショップのデザイン指導と制作実践
平成26年8月26日 ～30日	町田 佳世子	オーストリア	The 28th Conference of the European Health Psychology Society参加および発表
平成26年8月29日 ～9月4日	スーディ神崎 和代	フィンランド	研究対象者インタビュー、訪問看護関連事業所訪問
平成26年8月29日 ～9月4日	御厩 美登里	フィンランド	在宅死に関する意識についてフィンランドの住民の方へのインタビュー調査
平成26年9月2日 ～4日	町田 佳世子	中国 香港	The 22nd Biennial Conference of International Zoo Educators Associationでの研究成果発表
平成26年9月5日 ～14日	羽深 久夫	スイス、オランダ	ヨーロッパにおける木造架構の歴史的展開過程の調査（枠内構法の民家の歴史的展開過程との比較）
平成26年10月3日 ～10日	三谷 篤史	アメリカ	SMC2014への参加・発表
平成26年10月4日 ～13日	矢部 和夫	インドネシア	熱帯湿地の植生成立機構の解明
平成26年10月16日 ～20日	河原田 まり子	マレーシア	46th APACPH Conference in Kuala Lumpur（第46回アジア・パシフィック地区公衆衛生学会）参加
平成26年10月16日 ～20日	清水 光子	マレーシア	46th APACP Conference in Kuala Lumpur（第46回アジア・パシフィック地区公衆衛生学会）参加
平成26年10月25日 ～11月1日	斉藤 雅也	スイス、イタリア	科研費（斉藤代表）の研究発表および関連施設の視察
平成26年10月25日 ～11月4日	金子 晋也	オーストリア、イタリア	ENERGY FORUM（国際シンポジウム）での論文発表、および古典主義建築の系譜に関する研究
平成26年10月26日 ～11月4日	小西 敏正	イタリア	国際会議における研究発表及び建築構法の視察・研究打ち合わせ
平成26年10月28日 ～11月5日	原田 昭	中国	2014Tsinghua International Design Conference でのキーノートスピーチ、ディスカッションならびに友好交流
平成26年10月28日 ～11月5日	張 浦華	中国	2014 Tsinghua International Design Conference出席及び打合せ
平成26年11月13日 ～19日	守村 洋	フィンランド	施設視察、精神障害者家族へのインタビュー
平成26年11月26日 ～12月1日	上田 裕文	フィンランド	イメージスケッチ調査、ヒアリング調査、研究打ち合わせ
平成26年12月3日 ～10日	張 浦華	中国	清華大学美術学院主催ワークショップの引率
平成26年12月4日 ～9日	吉田 恵介	台湾	美瑛まちづくりの重点項目である自転車ルートにかかるサイン、便益休憩施設、情報環境等の事例調査
平成26年12月5日 ～11日	蓮見 孝	台湾	国立台中科技大学での講演会出席、視察
平成27年2月4日 ～6日	大野 夏代	台湾	18th East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) 参加
平成27年2月4日 ～7日	藤井 瑞恵	台湾	East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS)での発表



期間	教員名	目的国	目的
平成27年2月10日 ～24日	須之内 元洋	インドネシア	サウンドスケープ及び音響作品の成立に関する調査・記録
平成27年2月17日 ～22日	上田 裕文	フィンランド	Arctic Design Week参加、ワークショップ開催、Arctic Sustainable Art and Designミーティングへの参加
平成27年3月2日 ～8日	松井 美穂	アメリカ	ウィリアム・フォークナー及び南部文化の資料調査と研究者訪問
平成27年3月21日 ～26日	山内 まゆみ	イギリス	看護教育国外視察（シミュレーション教育、看護教育）
平成27年3月21日 ～26日	神島 滋子	イギリス	高度実践看護教育に関する視察
平成27年3月21日 ～26日	菅原 美樹	イギリス	高度実践看護教育に関する視察
平成27年3月21日 ～26日	中村 恵子	イギリス	高度実践看護教育に関する視察
平成27年3月22日 ～25日	羽深 久夫	中国	歴史的建造物の調査
平成27年3月22日 ～28日	三谷 篤史	アメリカ	各施設のシミュレーション教育施設見学および口腔ケアに関する研究打ち合わせ
平成27年3月22日 ～28日	村松 真澄	アメリカ	口腔ケアに関するシミュレーションラボを見学、口腔ケアの研究の打ち合わせ